

## 宮崎県 J F 共済推進本部 本部長 矢部 廣一

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、日頃より J F 共済事業へのご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。新春を迎えるにあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

はじめに、昨年の相次ぐ台風襲来等の自然災害により被害に遭われた漁業関係者および地域住民の皆様に対し、衷心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。



さて、J F 共済の事業基盤であります漁業・漁村を取り巻く環境は依然として厳しい状況にありますことは皆様ご承知のとおりで私が申し上げるまでもございません。

このような事業環境ではございますが、J F 共済では平成 29 年度より進めておりました 3 年計画「一人ひとりの笑顔のために…協同の原点」が最終年度を迎え、前 3 年計画から引き継いだ課題である「保有契約量の減少傾向に歯止めをかけるための取組み」を着実に実践し、J F 共済事業の健全性・信頼性の強化に取り組んでいるところでございます。

また、J F グループといたしましても、2015 年からの運動方針では、「水産日本の復活に向けて～J F グループの挑戦～」を掲げ、浜プランを中心に運動展開し、その取組みの結果として全体的な成果が確実に出てきており、厳しい中にも浜は活気を取り戻しつつあります。

こうした中、2018 年 12 月に漁業法等の改正が行われました。そこで、先に行われました J F 全国代表者集会におきまして、新たな J F グループの運動方針「水産業の成長産業化に向けた改革の実践～J F グループが漁業者とともに自ら拓く浜の未来～」を決議・採択し、同方針の実践に向けて J F グループが一体となって取り組んでいくことを表明いたしました。また、推進本部といたしましても、「主役は浜である」の認識のもと漁協役員はもとより、女性部・青壮年部等のご協力を賜り、各共済種目の完全達成を目指して積極的に普及推進活動を展開しているところでございます。

このような中、基幹種目の一つであります「くらし」につきましては、昨年度に引続き積極的な推進活動により、順調な成果を上げておりますが、昨年 7 月に改正された「チョコー」につきましては、「新医療共済『匠』」や女性特約の「りぼん」等の周知徹底を図るべく推進活動を展開しており、第 4 四半期での成果を期待するところでございます。

私たち J F 共済は、海に生き、浜に生活する組合員・地域住民の「暮らしの保障」に万全を期すことを通じて、美しい海と漁業を守り、豊かに安心して暮らすことのできる魅力ある地域づくりに貢献してまいりたいと考えておりますので、どうか本年も、引き続きご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様方のご健勝と操業の安全及び大漁をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。